

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。

①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基準に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

科目群(分類)	授業科目名	単位数	科目番号	開講単位数			開講学期・単位(時間)								備考	学習目標(要約)	主な学習成果(略記号)	
				必修	選択必修	選択	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII				
教職に関する科目 (教科指導法を除く)	教師論	2	90000	2				2(2)									「教職の意義及教育の役割、教員の職務内容、進路選択に資する各種の機械の提供等」に関する基礎知識・技能を身につける	②子ども理解 ③学校・社会 ④自己省察
	教育の理念と歴史	2	90010	2					2(2)								「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」に関する基礎知識・技能を身につける	③学校・社会
	発達と学習の心理 (障害児の発達と学習を含む)	2	90030	2				2(2)									「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」に関する基礎知識・技能を身につける	②子ども理解
	教育の制度と経営	2	90050	2						2(2)							「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」に関する基礎知識・技能を身につける	③学校・社会
	教育課程論	2	90070	2				2(2)									「教育課程の意義及び編成の方法」に関する基礎知識・技能を身につける	②子ども理解 ③学校・社会 ④校種
	教育方法学〔機器活用を含む〕	2	90100	2						2(2)							「教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)」に関する基礎知識・技能を身につける	②子ども理解 ③学校・社会
	道徳教育論	2	90090	2							2(2)						「道徳の指導法」に関する基礎知識・技能を身につける	①教科等 ②子ども理解 ③学校・社会
	特別活動論	2	90080	2						2(2)							「特別活動の指導法」に関する基礎知識・技能を身につける	①教科等 ②子ども理解
	生徒の生活と進路の指導論	2	90270	2							2(2)						「生徒指導の理論及び方法」と「進路指導の理論及び方法」に関する基礎知識・技能を身につける	②子ども理解 ③学校・社会
	教育相談論	2	90280	2							2(2)						「教育相談の理論及び方法」に関する基礎知識・技能を身につける	②子ども理解
	総合演習A	2	90310	2									2(2)		平成21年度以前入学者対象	人類に共通する課題または社会全体に係わる課題について主体的に取り組み、問題解決的な授業を構想する力を身につける	②子ども理解 ③学校・社会	
	教育実習ⅠA(小)	4	90330	4							4(4)					1科目選択	小学校での教育実習を通じて小学校教育に必要な基礎知識・技能を身につける	①教科等 ②子ども理解 ④自己省察 ⑤校種
	教育実習ⅠB(中・高)	4	90331								4(4)						中学校・高等学校での教育実習を通じて中等教育に必要な基礎知識・技能を身につける	
	教育実習ⅡA(小)	2	90332	2									2(2)			1科目選択	小学校での教育実習を通じて小学校教育に必要な基礎知識・技能を身につける	①教科等 ④自己省察 ⑤校種
	教育実習ⅡB(中・高)	2	90333									2(2)					中学校・高等学校での教育実習を通じて中等教育に必要な基礎知識・技能を身につける	
	教育実習Ⅲ(幼)	2	90334		2								2(2)				幼稚園での教育実習を通じて幼稚園教育に必要な基礎知識・技能を身につける	
	教育実習事前指導Ⅰ	1/4	90337	1/4							1/4						教育実習ⅠA・ⅠBの事前に必要な基礎知識を身につける	
	教育実習事後指導Ⅰ	1/4	90338	1/4								1/4					教育実習ⅠA・ⅠBの事後に取組・成果を自己評価し今後の取組課題を明らかにする	
	教育実習事前指導Ⅱ	1/4	90339	1/4									1/4				教育実習ⅡA・ⅡB・Ⅲの事前に必要な基礎知識を身につける	
	教育実習事後指導Ⅱ	1/4	90340	1/4										1/4			教育実習ⅡA・ⅡB・Ⅲの事後に取組・成果を自己評価し今後の取組課題を明らかにする	
教職実践演習A(教諭)	2	90313	2										2(1)		平成24年度開講せず 平成22年度以降入学者対象	教員として求められる資質能力を認識し、自身のその資質能力を自己評価できる	③学校・社会 ④自己省察	
修得すべき単位				※特別支援教育専修以外 29、特別支援教育専修 27														
小学校の教科指導	初等国語科教育法	2	90130	2				2(2)									小学校国語科の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	
	初等社会科教育法	2	90131	2				2(2)									小学校社会科の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	
	算数科教育法	2	90132	2					2(2)								小学校算数科の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	
	初等理科教育法	2	90133	2				2(2)									小学校理科の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	
	生活科教育法	2	90134	2							2(2)						小学校生活科の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	①教科等 ⑤校種

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。

①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基礎に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

科目群(分類)	授業科目名	単位数	科目番号	開講単位数			開講学期・単位(時間)								備考	学習目標(要約)	主な学習成果(略記号)		
				特別支援教育専修	他専修	選択	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII					
																		必修	選択必修
専修基礎科目	特別支援教育の理念と歴史	2	90500	2	2				2(2)								特別支援教育の基礎理論に関する基礎知識を身につける	③学校・社会	
	聴覚障害の心理・生理・病理	2	90510	2	2			2(2)									特別支援教育の聴覚障害者領域の基礎知識・技能を身につける	②子ども理解	
	聴覚障害教育課程論	2	90520	2	2				2(2)								特別支援教育の聴覚障害者領域の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	③学校・社会⑤校種	
	聴覚障害指導法	2	90521	2	2						2(2)						特別支援教育の聴覚障害者領域の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	⑤校種	
	発声発語支援法	2	90522	2	2						2(2)						特別支援教育の聴覚障害者領域の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	⑤校種	
	知的障害の心理・生理・病理	2	90530	2	2				2(2)								特別支援教育の知的障害者領域の基礎知識・技能を身につける	②子ども理解	
	知的障害教育課程論	2	90540	2	2						2(2)						特別支援教育の知的障害者領域の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	③学校・社会⑤校種	
	肢体不自由の心理・生理・病理	2	90550	2	2						2(2)						特別支援教育の肢体不自由者領域の基礎知識・技能を身につける	②子ども理解	
	肢体不自由教育論	2	90560	2	2						2(2)						特別支援教育の肢体不自由者領域の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	③学校・社会⑤校種	
	ことばの障害とコミュニケーション	2	90570	2	2				2(2)								特別支援教育の「重複・LD等」領域の基礎知識・技能を身につける	②子ども理解	
	発達障害総論	2	90571	2	2							2(2)					特別支援教育の「重複・LD等」領域の基礎知識・技能を身につける	②子ども理解	
	障害児教育基礎論	2	90580	2	2			2(2)									特別支援教育の基礎理論に関する基礎知識を身につける	⑤校種	
	教育実習事前事後指導	1	90590	1											1		特別支援教育の実習に関する基礎知識を身につける	①教科等②子ども理解③学校・社会④自己省察	
	障害児教育実習	2	90591	2											2		特別支援教育の実習を通じて特別支援教育に必要な基礎知識・技能を身につける	①教科等②子ども理解③学校・社会④自己省察	
	修得すべき単位				27														
	特別支援教育専修 専門科目	障害児福祉教育論	2	90600		2	2								2(2)			特別支援教育の基礎理論に関する専門知識を深める	③学校・社会
		聴覚検査法	1	90610		1	1							1(2)				特別支援教育の聴覚障害者領域の専門知識・技能を深める	⑤校種
		音響聴覚学	2	90611		2	2							2(2)		隔年開講	平成24年度開講せず	特別支援教育の聴覚障害者領域の専門知識・技能を深める	
		コミュニケーション支援論	2	90620		2	2							2(2)				特別支援教育の聴覚障害者領域の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	
		人間発達の生理と障害	2	90630		2	2					2(2)						特別支援教育の知的障害者領域の専門知識・技能を深める	②子ども理解
知的障害指導法		2	90640		2	2						2(2)					特別支援教育の知的障害者領域の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	⑤校種	
障害児教育実践論		2	90641		2	2								2(2)			特別支援教育の知的障害者領域の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	②子ども理解⑤校種	
手話序論		1	90650		1	1		1(2)									特別支援教育の聴覚障害者領域の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	⑤校種	
障害乳幼児発達支援演習		2	90651		2	2			2(2)								特別支援教育の知的障害者領域の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	①教科等②子ども理解③学校・社会④自己省察	
学習障害の心理と指導		2	90662		2	2						2(2)					特別支援教育の「重複・LD等」領域の専門知識・技能を深める	①教科等⑤校種	
言語障害指導法		2	90660		2	2							2(2)				特別支援教育の「重複・LD等」領域の専門知識・技能を深める	①教科等⑤校種	
重複障害児教育		2	90664		2	2								2(2)			特別支援教育の「重複・LD等」領域の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	⑤校種	
発達障害指導法	2	90663		2	2								2(2)			特別支援教育の「重複・LD等」領域の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	⑤校種		

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。

①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1)教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基盤に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○教育科学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○教育科学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2)全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

専修専門科目	軽度発達障害支援演習	1	90665		1										1(2)		特別支援教育の「重複・LD等」領域の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	①教科等②子ども理解③学校・社会④自己省察			
	特別支援コーディネータ序論	2	90661		2	2									2(2)		特別支援教育の「重複・LD等」領域の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	②子ども理解⑤校種			
	コミュニケーション障害支援演習	1	90666		1										1(2)		特別支援教育の「重複・LD等」領域の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	①教科等②子ども理解③学校・社会④自己省察			
	障害児教育基礎演習	2	90667		2							2(2)					特別支援教育の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める				
	言語聴覚学演習Ⅰ	1	90668		1										1(2)	平成24年度開講せず	特別支援教育の専門知識・技能を深める	④自己省察⑤校種			
	言語聴覚学演習Ⅱ	1	90669		1										1(2)	平成24年度開講せず					
	聴覚障害指導法演習Ⅰ	1	90670		1										1(2)						
	聴覚障害指導法演習Ⅱ	1	90671		1										1(2)						
	発声発語障害学演習Ⅰ	1	90672		1										1(2)						
	発声発語障害学演習Ⅱ	1	90673		1										1(2)						
	言語発達障害学演習Ⅰ	1	90674		1										1(2)						
	言語発達障害学演習Ⅱ	1	90675		1										1(2)						
	知的障害教育学演習Ⅰ	1	90676		1										1(2)						
	知的障害教育学演習Ⅱ	1	90677		1										1(2)						
	知的障害指導法演習Ⅰ	1	90678		1										1(2)						
	知的障害指導法演習Ⅱ	1	90679		1										1(2)						
	知的障害心理学演習Ⅰ	1	90680		1										1(2)	平成24年度開講せず					
	知的障害心理学演習Ⅱ	1	90681		1										1(2)	平成24年度開講せず					
	修得すべき単位					15															

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。

①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基礎に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

科目群(分類)	授業科目名	単位数	科目番号	開講単位数			開講学期・単位(時間)								備考	学習目標(要約)	主な学習成果(略記号)				
				社会科教育専修		他専修	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII							
				必修	選択必修	選択															
専修基礎科目	日本史	2	34040	2		2			2(2)												
	ヨーロッパ圏理解A	2	34045	2		2			2(2)												
	東洋史	2	34047	2		2							2(2)								
	地理学	2	34060	2		2			2(2)												
	地誌学	2	34061	2		2					2(2)										
	法律学	2	34070	2		2					2(2)										
	政治学	2	34071	2		2			2(2)												
	経済学	2	34080	2		2					2(2)										
	社会学	2	34081	2		2					2(2)										
	哲学	2	34090	2		2			2(2)												
	中等社会科教育法A	2	90167	2		2				2(2)											
	中等社会科教育法B	2	90168	2		2					2(2)										
	社会科授業研究 I	2	90169	2		2								2(2)							
	社会科授業研究 II	2	90170	2		2									2(2)						
	修得すべき単位				28																
	専修専門科目	日本史A	2	34041		2	2				2(2)										
		日本史B	2	34042		2	2					2(2)									
		日本史演習A	2	34043		2	2				2(2)										
		日本史演習B	2	34044		2	2							2(2)							
		西洋近・現代史概説	2	34046		2	2					2(2)									
歴史学実習		2	34048		2	2				2(2)											
西洋史演習A		2																			
西洋史演習B		2																			
自然地理学		2	34062		2	2					2(2)										
農村地理学		2	34063		2	2					2(2)										
都市地理学		2	34064		2	2					2(2)										
行政法		2	34072			2	2							2(2)							
法律学演習A		2	34073			2	2								2(2)						

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。

①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基盤に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

学類	科目	単位数	1年次	2年次	3年次	4年次	備考
学校教育学類	法律学演習B	2	34074		2	2	
	倫理学	2	34091		2	2	2(2)
	哲学史	2	34092		2	2	2(2)
	哲学演習	2	34093		2	2	2(2)
	宗教学	2	34094		2	2	2(2)
	現代青年心理学	2	34095		2	2	2(2)
	社会科教育演習A	2	90140		2	2	2(2)
	社会科教育演習B	2	90171		2	2	2(2)
	社会科・地理歴史科教育法A	2	90172		2	2	2(2)
	社会科・地理歴史科教育法B	2	90173		2	2	2(2)
	社会科・公民科教育法A	2	90174		2	2	2(2)
	社会科・公民科教育法B	2	90175		2	2	2(2)
	社会科カリキュラム研究Ⅰ	2	90442	2	2	2	2(2)
	社会科カリキュラム研究Ⅱ	2	90443	2	2	2	2(2)
	修得すべき単位				12		

中学校社会科・高等学校公民科の「哲学、倫理学、宗教学」「哲学、倫理学、宗教学、心理学」分野の専門知識・技能を深める

高等学校公民科の「哲学、倫理学、宗教学」「哲学、倫理学、宗教学、心理学」分野の専門知識・技能を深める

小学校社会科の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める

中学校社会科の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める

中学校社会科・高等学校地理歴史科の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める

中学校社会科・高等学校公民科の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める

小学校社会科、中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科の教育課程の専門知識を深める

①教科等 ④自己省察 ⑤校種

①教科等 ⑤校種

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。

①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基礎に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

科目群(分類)	授業科目名	単位数	科目番号	開講単位数			開講学期・単位(時間)								備考	学習目標(要約)	主な学習成果(略記号)				
				数学教育専修		他専修	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII							
				必修	選択必修	選択															
専門科目 教科教育コース 数学教育専修	代数学基礎A	2	34100	2		2			2(2)									中学校・高等学校数学科の代数学分野の基礎知識・技能を身につける	①教科等 ⑤校種		
	代数学基礎B	2	34101	2		2			2(2)												
	幾何学基礎A	2	34110	2		2			2(2)											中学校・高等学校数学科の幾何学分野の基礎知識・技能を身につける	
	幾何学基礎B	2	34111	2		2				2(2)											
	解析学基礎A	2	34120	2		2			2(2)												中学校・高等学校数学科の解析学分野の基礎知識・技能を身につける
	解析学基礎B	2	34121	2		2				2(2)											
	確率・統計	2	34130	2		2					2(2)										中学校・高等学校数学科の「確率論、統計学」分野の基礎知識・技能を身につける
	行列と行列式	2	34131	2		2			2(2)												
	微分積分	2	34132	2		2			2(2)												
	コンピュータ	2	34140	2		2			2(2)											中学校・高等学校数学科のコンピュータ分野の基礎知識・技能を身につける	
	数学科教育法A	2	90176	2		2			2(2)												
	数学科教育法B	2	90177	2		2					2(2)										
	数学科授業研究 I	2	90178	2		2						2(2)								中学校・高等学校数学科の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	
	数学科授業研究 II	2	90179	2		2	2							2(2)							
	修得すべき単位				28																
		代数学演習	2	34102		2	2			2(2)											①教科等 ⑤校種
		現代代数学	2	34103		2	2							2(2)							
		応用代数	2	34104		2	2								2(2)						
		幾何学演習	2	34112		2	2			2(2)											
		現代幾何学	2	34113		2	2							2(2)							
		応用幾何	2	34114		2	2									2(2)					
		解析学演習	2	34122		2	2			2(2)											
		現代解析学	2	34123		2	2								2(2)						
		応用解析	2	34124		2	2									2(2)					
		集合と位相	2	34133		2	2			2(2)											
		数学演習 I	2	34134		2	2									2(2)					
		数学演習 II	2	34135		2	2										2(2)				
		数学科教育演習	2	90180		2	2									2(2)					
	算数科教育演習	2	90141		2	2										2(2)					
	算数・数学科カリキュラム研究 I	2	90444		2								2(2)								
	算数・数学科カリキュラム研究 II	2	90445		2											2(2)					

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ		
学類名	学校教育学類			
学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)				
<p>義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。</p> <p>①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。 ③学校教育・学校組織とそれを巻き巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。</p>				
学類のCP(カリキュラム編成方針)				
<p>1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基盤に、カリキュラムを構成する。すなわち、 ○ 教育学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意) ○ 教育学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科) の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。</p>				
学類の学習成果				
<p>①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等) ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解) ③学校教育・学校組織とそれを巻き巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会) ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察) ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)</p>				
学類のカリキュラム				
			修得すべき単位	12

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。

①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基盤に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学科コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学科コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学科の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

科目群(分類)	授業科目名	単位数	科目番号	開講単位数			開講学期・単位(時間)								備考	学習目標(要約)	主な学習成果(略記号)				
				理科教育専修		他専修	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII							
				必修	選択必修	選択															
専 門 科 目	教 科 教 育 コ ー ス	理 科 教 育 専 修 基 礎 科 目	理科内容基礎A(物理学)	2	34150	2	2			2(2)								中学校・高等学校理科の物理学分野の基礎知識・技能を身につける	①教科等 ⑤校種		
			理科内容発展A(物理学)	2	34151	2	2			2(2)										中学校・高等学校理科の物理学実験分野の基礎知識・技能を身につける	
			理科実験A(物理学)	1	34160	1	1					1(3)								中学校・高等学校理科の物理学実験分野の基礎知識・技能を身につける	
			理科内容基礎B(化学)	2	34170	2	2			2(2)										中学校・高等学校理科の化学分野の基礎知識・技能を身につける	
			理科内容発展B(化学)	2	34171	2	2			2(2)										中学校・高等学校理科の化学実験分野の基礎知識・技能を身につける	
			理科実験B(化学)	1	34180	1	1					1(3)								中学校・高等学校理科の化学実験分野の基礎知識・技能を身につける	
			理科内容基礎C(生物学)	2	34190	2	2			2(2)										中学校・高等学校理科の生物学分野の基礎知識・技能を身につける	
			理科内容発展C(生物学)	2	34191	2	2			2(2)										中学校・高等学校理科の生物学実験分野の基礎知識・技能を身につける	
			理科実験C(生物学)	1	34200	1	1					1(3)								中学校・高等学校理科の生物学実験分野の基礎知識・技能を身につける	
			理科内容基礎D(地学)	2	34210	2	2			2(2)									中学校・高等学校理科の地学分野の基礎知識・技能を身につける		
			理科内容発展D(地学)	2	34211	2	2					2(2)							中学校・高等学校理科の地学実験分野の基礎知識・技能を身につける		
			理科実験D(地学)	1	34220	1	1					1(3)							中学校・高等学校理科の地学実験分野の基礎知識・技能を身につける		
			中等理科教育法A	2	90183	2	2					2(2)							中学校・高等学校理科の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	①教科等 ④自己省察 ⑤校種	
			中等理科教育法B	2	90184	2	2						2(2)								
			理科授業研究 I	2	90185	2	2							2(2)							
			理科授業研究 II	2	90186	2	2									2(2)					
			修得すべき単位				28														
			専 修 専 門	理 科 教 育 専 修	理科内容演習AI(物理学)	2	34152	2	2							2(2)				中学校・高等学校理科の物理学分野の専門知識・技能を深める	①教科等 ⑤校種
理科内容演習AII(物理学)	2	34153			2	2							2(2)								
理科内容演習BI(化学)	2	34172			2	2							2(2)				中学校・高等学校理科の化学分野の専門知識・技能を深める				
理科内容演習BII(化学)	2	34173			2	2								2(2)							
理科内容演習CI(生物学)	2	34192			2	2							2(2)					中学校・高等学校理科の生物学分野の専門知識・技能を深める			
理科内容演習CII(生物学)	2	34193			2	2								2(2)							
理科内容演習DI(地学)	2	34212	2	2									2(2)				中学校・高等学校理科の地学分野の専門知識・技能を深める				

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。
 ①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基礎に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

科目	単位数	科目番号	1年次	2年次	3年次	4年次	履修条件	備考
理科内容演習DII(地学)	2	34213		2	2			2(2)
理科教育演習 I	2	90142		2	2			2(2)
理科教育演習 II	2	90187		2	2			2(2)
理科カリキュラム研究 I	2	90446	2		2			2(2)
理科カリキュラム研究 II	2	90447	2		2			2(2)
修得すべき単位			12					

小学校・高等学校理科の地学分野の専門知識・技能を深める
 小学校理科の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める
 ①教科等 ④自己省察 ⑤校種
 中学校・高等学校理科の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める
 小学校・中学校・高等学校理科の教育課程の専門知識を深める
 ①教科等 ⑤校種

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。

①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基礎に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学科コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学科コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学科の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

科目群(分類)	授業科目名	単位数	科目番号	開講単位数			開講学期・単位(時間)								備考	学習目標(要約)	主な学習成果(略記号)			
				音楽教育専修		他専修	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII						
				必修	選択必修	選択														
専 門 科 目 教 科 教 育 コ ー ス 音 楽 教 育 専 修	ソルフェージュ	2	34230	2		2					2(2)							中学校音楽科・高等学校芸術科音楽のソルフェージュ分野の基礎知識・技能を身につける	①教科等 ⑤校種	
	歌唱法 I	2	34240	2		2					2(2)									
	アンサンブルA(声楽)	1	34241	1		1					1(2)						合併授業	中学校音楽科・高等学校芸術科音楽の声楽分野の基礎知識・技能を身につける		
	アンサンブルB(声楽)	1	34242	1		1							1(2)							
	日本の伝統的歌唱法	1	34243	1		1						1(1)					連続開講			
	和楽器奏法	1	34250	1		1						1(1)								
	伴奏法	1	34251	1		1							1(2)							
	ピアノ奏法 I	2	34252	2		2						2(2)						中学校音楽科・高等学校芸術科音楽の器楽分野の基礎知識・技能を身につける		
	アンサンブルD(木管)	1	34253	1		1						1(2)								
	アンサンブルE(金管)	1	34254	1		1							1(2)							
	指揮法	1	34260	1		1									1(2)			中学校音楽科・高等学校芸術科音楽の指揮法分野の基礎知識・技能を身につける		
	音楽理論及び和声学(作曲・編曲を含む) I	2	34270	2		2						2(2)							中学校音楽科・高等学校芸術科音楽の音楽理論、作曲及び音楽史分野の基礎知識・技能を身につける	
	音楽史A(西洋音楽)	2	34271	2		2						2(2)								
	音楽史B(日本及び世界の音楽)	2	34272	2		2						2(2)								
	音楽科教育法A	2	90190	2		2						2(2)								
	音楽科教育法B	2	90191	2		2						2(2)								
	音楽科授業研究 I	2	90192	2		2									2(2)				中学校音楽科・高等学校芸術科音楽の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	
	音楽科授業研究 II	2	90193	2		2										2(2)				
	修得すべき単位				28															
	専 門 科 目 専 修 専 門 科 目	歌唱法 II	2	34244		2	2								2(2)					①教科等 ⑤校種
歌唱法演習 I		2	34245	} a		2								2(2)					中学校音楽科・高等学校芸術科音楽の声楽分野の専門知識・技能を深める	
歌唱法演習 II		2	34246			2										2(2)				
アンサンブルC(声楽)		1	34247		1	1										1(2)		IV期VI期と合併授業		
ピアノ奏法 II		2	34255		2	2							2(2)							
ピアノ奏法演習 I		2	34256	} b		2								2(2)					中学校音楽科・高等学校芸術科音楽の器楽分野の専門知識・技能を深める	
ピアノ奏法演習 II		2	34257			2									2(2)					
音楽理論及び和声学(作曲・編曲)		2	34273		2	2						2(2)							中学校音楽科・高等学校芸術科音楽の音楽理論、作曲及び音楽史分野の専門知識・技能を深める	
作曲(編曲を含む)演習 I		2	34274	} c		2									2(2)			平成24年度開講せず	中学校音楽科・高等学校芸術科音楽の音楽理論、作曲及び音楽史分野の専門知識・技能を深める	
作曲(編曲を含む)演習 II		2	34275			2										2(2)			平成24年度開講せず	

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。

①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基礎に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

				音楽科教育演習Ⅰ	2	90143		d		2						2(2)			平成24年度開講せず	小学校音楽科の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める
				音楽科教育演習Ⅱ	2	90194				2							2(2)		平成24年度開講せず	中学校音楽科・高等学校芸術科音楽の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める
				音楽科カリキュラム研究Ⅰ	2	90448	2			2						2(2)				小学校音楽科、中学校音楽科、高等学校芸術科音楽の教育課程の専門知識を深める
				音楽科カリキュラム研究Ⅱ	2	90449	2			2						2(2)				
				修得すべき単位			12	「a～d」の4つの分野のうち1分野を選択し、4単位を修得すること。												

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。

①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基礎に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

科目群(分類)	授業科目名	単位数	科目番号	開講単位数			開講学期・単位(時間)								備考	学習目標(要約)	主な学習成果(略記号)		
				美術教育専修		他専修	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII					
				必修	選択必修	選択													
専修基礎科目	絵画基礎 (映像メディア表現を含む)	2	34280	2		2				2(4)								中学校美術科・高等学校芸術科美術の絵画分野の基礎知識・技能を身につける	①教科等 ⑤校種
	絵画Ⅰ	2	34281	2		2				2(4)									
	絵画Ⅱ	2	34282	2		2						2(4)							
	彫刻基礎	2	34290	2		2			2(4)										
	彫刻Ⅰ	2	34291	2		2				2(4)									
	彫刻Ⅱ	2	34292	2		2						2(4)							
	色彩演習	1	34300	1						1(2)									
	デザイン基礎 (映像メディア表現を含む)	1	34301	1		1				1(2)									
	デザインⅠ	2	34302	2		2					2(4)								
	デザインⅡ	2	34303	2		2							2(4)						
	工芸基礎	2	34310	2		2			2(4)										
	中等美術科教育法A	2	90195	2		2				2(2)									
	中等美術科教育法B	2	90196	2		2				2(2)									
	美術科授業研究Ⅰ	2	90197	2		2							2(2)						
	美術科授業研究Ⅱ	2	90198	2		2								2(2)					
修得すべき単位				28															
専修専門科目	絵画Ⅲ	2	34283		2	2									2(4)			中学校美術科・高等学校芸術科美術の絵画分野の専門知識・技能を深める	①教科等 ⑤校種
	絵画制作研究	2	34284		2	2									2(4)				
	彫刻Ⅲ	2	34293		2	2									2(4)			中学校美術科・高等学校芸術科美術の彫刻分野の専門知識・技能を深める	
	彫刻制作研究	2	34294		2	2									2(4)				
	デザインⅢ	2	34304		2	2									2(4)			中学校美術科・高等学校芸術科美術のデザイン分野の専門知識・技能を深める	
	デザイン制作研究	2	34305		2	2									2(4)				
	工芸論	2	34311		2	2			2(2)									中学校美術科の工芸分野の専門知識を深める	
	美術史 (美術理論を含む)	2	34320	2		2					2(2)								
	西洋美術史A	2	34321		2	2					2(2)								
	西洋美術史B	2	34322		2	2					2(2)								
美術実地研究	1	34323		1	1					1(2)									
図画工作科教育演習	2	90144		2	2							2(2)					小学校図画工作科の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める		
美術科教育演習	2	90199		2	2					2(2)									

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。

①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを巻き巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基盤に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを巻き巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

図工・美術科 カリキュラム研究Ⅰ	2	90450	2	2						2(2)									小学校図画工作科・中学校美術科・高等学校芸術科美術の教育課程の専門知識を深める	①教科等 ⑤校種
図工・美術科 カリキュラム研究Ⅱ	2	90451	2	2							2(2)									
修得すべき単位			12																	

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。

①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基礎に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

科目群(分類)	授業科目名	単位数	科目番号	開講単位数			開講学期・単位(時間)								備考	学習目標(要約)	主な学習成果(略記号)				
				家政教育専修		他専修	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII							
				必修	選択必修	選択															
専修基礎科目	家政学原論	2	34330	2	2					2(2)											
	家庭経営学(家庭経済学を含む)	2	34331	2	2				2(2)											中学校・高等学校家庭科の家庭経営学分野の基礎知識を身につける	
	家族関係学	2	34332	2	2						2(2)										
	被服科学I	2	34340	2	2					2(2)										中学校・高等学校家庭科の被服学分野の基礎知識・技能を身につける	
	被服科学実験	1	34341	1	1									1(3)							
	被服構成実習	1	34342	1	1									1(3)							
	健康栄養学	2	34350	2	2										2(2)						
	健康栄養学実習	1	34351	1	1									1(3)						中学校・高等学校家庭科の食物学分野の基礎知識・技能を身につける	
	調理実習	1	34352	1	1									1(3)							
	住生活学	2	34360	2	2						2(2)										
	保育学概論(家庭看護を含む)	2	34370	2	2				2(2)												
	保育学(実習を含む)	2	34371	2	2						2(2)										
	中等家庭科教育法A	2	90207	2	2						2(2)										
	中等家庭科教育法B	2	90208	2	2									2(2)							
	家庭科授業研究 I	2	90209	2	2										2(2)					中学校・高等学校家庭科の教育課程及び指導法の基礎知識・技能を身につける	
	家庭科授業研究 II	2	90210	2	2												2(2)				
	修得すべき単位				28																
	専修専門科目	家庭経営学演習 I	2	34333		2	2								2(2)						中学校・高等学校家庭科の家庭経営学分野の専門知識を深める
		家庭経営学演習 II	2	34334		2	2									2(2)					
		被服科学 II	2	34343		2	2							2(2)							中学校・高等学校家庭科の被服学分野の専門知識・技能を深める
被服科学演習 I		2	34344		2	2								2(2)							
被服科学演習 II		2	34345		2	2										2(2)					
健康と食品機能		2	34353		2	2							2(2)								
健康栄養学演習		4	34354		2	2								4(2)		通年	平成24年度開講せず				中学校・高等学校家庭科の食物学分野の専門知識・技能を深める
住環境論		2	34361		2	2											2(2)				中学校・高等学校家庭科の住居学分野の専門知識・技能を深める
住生活学演習		2	34362		2	2						2(2)									
保育学演習 I		2	34372		2	2												2(2)			中学校・高等学校家庭科の保育学分野の専門知識・技能を深める
保育学演習 II	2	34373		2	2													2(2)			
電気・機械・情報概論	2	34380		2	2								2(2)							高等学校家庭科の家庭電気・機械及び情報処理分野の専門知識を深める	
家庭科教育演習A	2	90145		2	2									2(2)						小学校家庭科の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。
 ①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1) 教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基盤に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○ 教育学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○ 教育学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○ 教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2) 全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを取り巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

科目群(分類)	授業科目名	単位数	科目番号	開講単位数			開講学期・単位(時間)								備考	学習目標(要約)	主な学習成果(略記号)		
				保健体育専修		他専修	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII					
				必修	選択必修	選択													
専修基礎科目	体操・器械運動	1	34390	1		1			1(2)								中学校・高等学校保健体育科の体育実技分野の基礎知識・技能を身につける		
	陸上競技	1	34391	1		1			1(2)										
	球技A	1	34392	1		1					1(2)								
	球技B	1	34393	1		1					1(2)								
	武道	1	34394	1		1				1(2)									
	ダンス	1	34395	1		1					1(2)								
	体育原理	2	34400	2		2				2(2)									
	運動学概論(運動方法学を含む)	2	34410	2		2				2(2)									
	バイオメカニクス	2	34411	2		2				2(2)									
	表現運動学	2	34412	2		2				2(2)									
	生理学(運動生理学を含む)	2	34420	2		2				2(2)									
	衛生学及び公衆衛生学	2	34430	2		2				2(2)									
	学校保健(小児保健 精神保健 学校安全)	2	34440	2		2				2(2)									
	保健体育科教育法A	2	90200	2		2				2(2)									
	保健体育科教育法B	2	90201	2		2				2(2)									
	保健体育科授業研究Ⅰ	2	90202	2		2						2(2)							
	保健体育科授業研究Ⅱ	2	90203	2		2							2(2)						
	修得すべき単位				28														
	専修専門科目	体育史	2	34401		2	2							2(2)				中学校・高等学校保健体育科の「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学」及び運動学分野の専門知識を深める	①教科等 ⑤校種
		体育史演習Ⅰ	2	34402		2	2							2(2)					
体育史演習Ⅱ		2	34403		2	2									2(4)				
運動方法学演習Ⅰ		2	34413		2	2							2(2)						
運動方法学演習Ⅱ		2	34414		2	2									2(4)				
バイオメカニクス演習Ⅰ		2	34415		2	2							2(2)						
バイオメカニクス演習Ⅱ		2	34416		2	2									2(4)				
表現運動学演習Ⅰ		2	34417		2	2							2(2)						
表現運動学演習Ⅱ		2	34418		2	2									2(4)				
体育科教育演習		2	90146		2	2							2(2)						
保健体育科教育演習	2	90204		2	2									2(4)					
																	小学校体育科の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	①教科等 ④自己省察 ⑤校種	
																	中学校・高等学校保健体育科の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める		

学域名	人間社会学域	2012年度版 学校教育学類カリキュラムマップ
学類名	学校教育学類	

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

義務教育学校を中心とした学校の教員に必要な、次のような知識・技能・態度を備え、教員として学校現場の課題に応えられる人材を養成する。この人材養成目標に到達した者に学士(教育学)の学位を授与する。
 ①教科等(道徳・特別活動を含む)の専門知識と、児童生徒の実態に合わせてそれらを教授するための知識・技能・創造的思考力。
 ②児童生徒の実態を観察・理解し、コミュニケーションにもとづいて児童生徒の自主的自治的活動を支援するための知識・技能・態度。
 ③学校教育・学校組織とそれを巻き巻く現代社会と世界の諸問題についての知識・理解力・分析力。
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すための知識・技能・態度。
 ⑤取得教員免許状の種類に応じた校種(小・中・特別支援・高等学校及び幼稚園)ごとの特徴的な教育内容と教育方法、および児童生徒等の理解と支援についての知識・技能。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

1)教員養成課程であるため、教職員免許法に定める免許状の取得要件を基礎に、カリキュラムを構成する。すなわち、
 ○教育科学コース教育基礎専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は任意)
 ○教育科学コース特別支援教育専修においては、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状
 ○教科教育コース各専修においては、小学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状(教科は所属専修の教科)
 の取得要件を必修とし、高等学校・幼稚園の免許科目は選択科目として配置する。
 2)全学生必修の小学校免許関連科目と、教員として必要な一般的な知識・技能を修得する科目を学類共通科目として主に1年次から2年次に配置する。中学校免許取得のための科目、および教育学の二つの専修の基礎的な科目を、「専修基礎科目」(必修科目)としておもに2年次・3年次に配置し、専修の専門知識を深め、教育現場での応用力を高めるための「専修専門科目」(必修を含む)を主に3年次から4年次に配置し、幼稚園免許のための選択科目は4年次を中心に配置する。

学類の学習成果

①教科等(道徳・特別活動を含む)の内容を理解し、児童・生徒の実態に応じた教授方法を探求することができる。(略記号:①教科等)
 ②児童生徒への理解にもとづいてコミュニケーションを行い、自主的自治的活動を支援することができる。(略記号:②子ども理解)
 ③学校教育・学校組織とそれを巻き巻く現代社会と世界の諸問題について、理解し判断することができる。(略記号:③学校・社会)
 ④自己の教員としての資質を省察し、個性的な教員としての自己形成を目指すことができる。(略記号:④自己省察)
 ⑤取得する教員免許の校種における教育内容・教育方法の特性を理解し、校種に応じた児童生徒等の理解と支援を行うことができる。(略記号:⑤校種)

学類のカリキュラム

学類のカリキュラム																							
				英語科教育演習Ⅰ	1	90216			1	1					1(2)								
				英語科教育演習Ⅱ	1	90217			1	1						1(2)					中学校・高等学校英語科の教育課程及び指導法の専門知識・技能を深める	①教科等 ④自己省察 ⑤校種	
				英語科カリキュラム研究Ⅰ	2	90456	2							2(2)							小学校外国語活動、中・高等学校英語科の教育課程の専門知識を深める	①教科等 ⑤校種	
				英語科カリキュラム研究Ⅱ	2	90457	2									2(2)							
修得すべき単位																						12	